



▲西陵中学校の体育館でプロ選手から指導を受ける生徒

プロの技にふれる

トヨタ車体クインシーズの強化合宿

8/18~23

8月18日(日)から23日(金)の6日間、女子バレーボールチーム『トヨタ車体クインシーズ』がVリーグでの優勝に向けた強化合宿を市内で行いました。

愛知県刈谷市を本拠地に活躍する同チームは、夏季の快適な合宿地として、登別市を選択。日本工学院北海道専門学校体育館などで、技術や体力、チーム力の向上を図りました。

期間中には、紅白試合を一般公開したり、市内中学校のバレーボール部の生徒に対するバレー教室を行ったりするなど、地域の方々との交流も行われた今回。多くの市民にとって、プロの技術にふれる貴重な機会となりました。

まちづくりの新たな視点を

全国大学政策フォーラムINのほりべつ

8/26~28

8月26日(月)から28日(水)にかけて、『第14回国大学政策フォーラムINのほりべつ』(同実行委員会主催)が開催されました。

学生が事前に調査してきた情報や市内で聞き取りなどを行った情報をもとに、新たなまちづくりの可能性を提言する同フォーラム。

今回は、日本各地8つの大学に通う学生約120人に加え、北海道登別明日中等教育学校の学生も参加し、「今こそ、イノベーションで『全市観光』の構築を!」をテーマとして、全市観光につながる柔軟な発想を発表し合い、よりよいまちづくりのヒントを共有していました。



▲多くの参加者を前に、まちづくりの提言を発表する学生

登別の夏を彩る 一大イベント

8/23~25

第56回登別地獄まつり

8月23日(金)から25日(日)、登別温泉街で、『第56回登別地獄まつり』(市、登別国際観光コンベンション協会主催)を開催しました。

昨年に引き続き、3日間の開催となった今回。天候に恵まれ、国内外から約6万5千人が訪れました。

オニッコマーチングバンドによる演奏や和太鼓、熊舞などのステージイベントのほか、年に一度、エンマ大王が表情を変えながら温泉街を練り歩く『エンマ大王からくり山車』、重さ約1トにもなるみこしを若者たちが担ぐ『鬼みこし暴れ練りこみ』が行われるなど、迫力満点の催しの数々に、会場は大きな歓声に包まれました。

25日(日)に行われた『鬼踊り大群舞』には、観光客や市内の町内会の方など、総勢約1千人が法被や鬼のお面などを着用して参加。軽快なおはやしに合わせた熱気あふれる踊りで極楽通りを埋め尽くし、祭りを盛り上げてくれました。



▲高さ約6メートルにもなる『エンマ大王からくり山車』



▲子どもから大人まで、幅広い世代が楽しんだ『鬼踊り大群舞』